



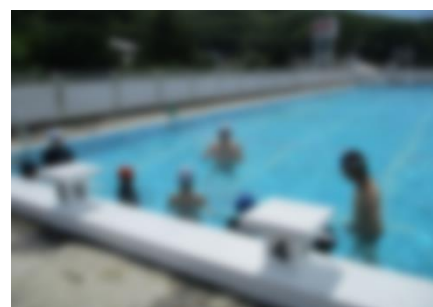
子どもは変わる

校長 川西 真理

1学期も終わりを迎えました。3年間の長かったコロナ自粛もようやく終わり、学校ではほぼこれまでの生活を取り戻すことができました。家庭の判断でマスクをつける場面もありますが、子どもたちの表情をしっかりと見られる機会が増えたことをとても嬉しく感じています。

さて、この1学期もさまざまな子どもの表情や成長を見ることができました。私たちの体の細胞が毎日少しずつ入れ替わっているのと同じように、子どもも日々変化していきます。できなかったことができるようになったり、今まで受け入れられなかった考えが受け入れられるようになったり、子どもたちの多くの変化を1学期間目のあたりにしてきました。時には、嬉しくて涙がでそうになることもありました。

しかし、人間ですから時にはでこぼこもあります。保護者の方の中には「もっと変わってほしい…」と心配することもあるかもしれません。けれども、悪くなってやろうと思っている子どもは一人もいません。みんな、自分なりに良くなろう、良くなりたと思っています。そして、子どもは変われます。小さな一言、小さなきっかけで変われることがあります。ぜひ、日々の生活の中で見つけた「小さな芽」をしっかり褒めてあげてほしいと思います。そして、一番の応援者であることを伝えてあげてほしいと思います。



「泳げるようになりたい」という子どもの気持ちと応援する（指導する）大人の気持ちがマッチング！で成長著しいプール学習

宿泊学習 ～4校で親交を深めた2日間～

6月29日・30日、5年生が4校（安下庄小・久賀小・浮島小・島中小）合同で宿泊学習を行いました。1日目のカヌー体験では、基本的な操舵の仕方を湾内で学んだ後、沖合の無人島を目標にカヌーを漕ぎきりました。また、夜はAFPY（人間関係づくりのプログラム）を行い、学校の壁を越えて親交を深めました。午前中のぎこちなさが消えて一気に笑顔の輪が広がりました。2日目はあいにくの雨でしたが、竹細工とカレー作りを行いました。カレー作りでは、班員が協力しておいしいカレーを作ることができました。2日間を通して、一気に4校の距離が縮まり、皆、2学期の集合学習での再会を楽しみにしている様子でした。



無事 無人島に到着



多くの友達とのふれあい



たけとんぼづくり

臨海教室 ～しまなканトリータイム～

7月14日、しまなканトリータイムの一環である臨海教室を、地域・保護者・学校の協働のもと行いました。第1部は「第3回地域ピカピカ大作戦」で白鳥海岸のごみ拾いをしました。第2部は児童によるレクリエーションでビーチバレー、砂山づくりをなかよし班対抗で行いました。第3部は海水浴を楽しみました。地域ピカピカ大作戦では、例年より多くの地域の方が参加してくださり、「ふるさとの海をきれいにしたい!」という思いを分かち合うことができました。子どもたちは、懸命にごみ拾いをした後は、海辺ならではの遊びを楽しみ、短い時間ではありましたが海を満喫しました。



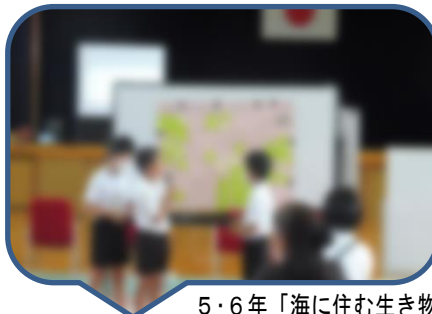
地域ピカピカ大作戦は日本赤十字社の助成を受けて行っています!
本年度からJRC(日本青少年赤十字)に加盟した本校では、日本赤十字社からの助成をうけて、清掃に必要な道具等を購入しています。

児童参加型学校運営協議会

7月18日、児童参加型学校運営協議会を行いました。今年のテーマである「豊かな大島の海が好き・守ろう・生かそう・つながろう」をもとに、各学級で自分たちが興味をもった海に関する内容について発表した後、地域や保護者の方に情報や意見をいただきました。地域の方々には持参したテーマに関する資料(海図やパンフレット、図鑑など)をつかって児童の知りたいことをわかりやすく説明していただきました。今後の学習の成果はふれあい学習発表会(11月18日)で発表する予定です。



2年「おすすめのビーチ」



5・6年「海に住む生き物」



5・6年「海洋ゴミの現状」



3・4年「海の生き物」



5・6年「食物連鎖」

